

令和7年度
サステナブル建築物等先導事業(省CO₂先導型)
今後の動向

エネルギーシステム分野に
おける立場から

サステナブル建築物等先導事業(省CO₂先導型)評価委員
東京科学大学 名誉教授
柏木 孝夫

エネルギーシステム分野の応募と採択について

■ 当分野の応募と採択の件数

- 令和3年度(第1回):応募1件 → 採択1件
- 令和3年度(第2回):応募2件 → 採択2件
- 令和4年度(第1回):応募なし
- 令和5年度(第1回):応募1件 → 採択1件
- 令和6年度 :応募1件 → 採択1件
- 令和7年度 :応募なし

- 応募件数は少ないものの、多様な省CO₂対策、防災性向上、複数棟におけるエネルギーマネジメント等の提案がなされ、波及性・普及性の観点から先導性を積極的に評価

今後の期待

- 電力と熱の両面からのシステム全体の最適化や脱炭素化、BCP対応
 - カーボンニュートラルの実現に向けた道筋を明示する取り組みの提案
- 周辺地域も含めたエネルギー利用の効率化やエネルギー需給バランス制御につながる提案
 - 新築を起点に周辺の既存建物の脱炭素や省エネ化、CO₂フリー電源の有効活用等に貢献する提案
 - エネルギーシステムだけではなく、建築的対策にも積極的に取り組む提案 など

令和7年度
サステナブル建築物等先導事業(省CO₂先導型)
概評と今後の動向

省エネ建築・設備分野に
おける立場から

サステナブル建築物等先導事業(省CO₂先導型)評価委員
一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター 理事長
伊香賀 俊治

今回の応募と採択について

- 応募案件(当分野)は8件→8件を採択

(採択内訳:一般部門6件、中小規模建築物部門2件)

- 今回の応募案件の特徴

- 東京・神奈川・千葉における庁舎、事務所、複合施設、地方都市における複合施設と事務所の新築提案
- 建築・設備計画において地域特性や建物特性を踏まえた多様な省CO₂対策を取り入れたウェルネスオフィスの実現と省CO₂の両立
- ホールライフカーボンを算定しCO₂排出量を削減する取り組みが増加

- 省CO₂技術の普及や地方都市の類似用途への波及性・普及性の観点から先導性を積極的に評価

採択案件の概評① <一般部門>

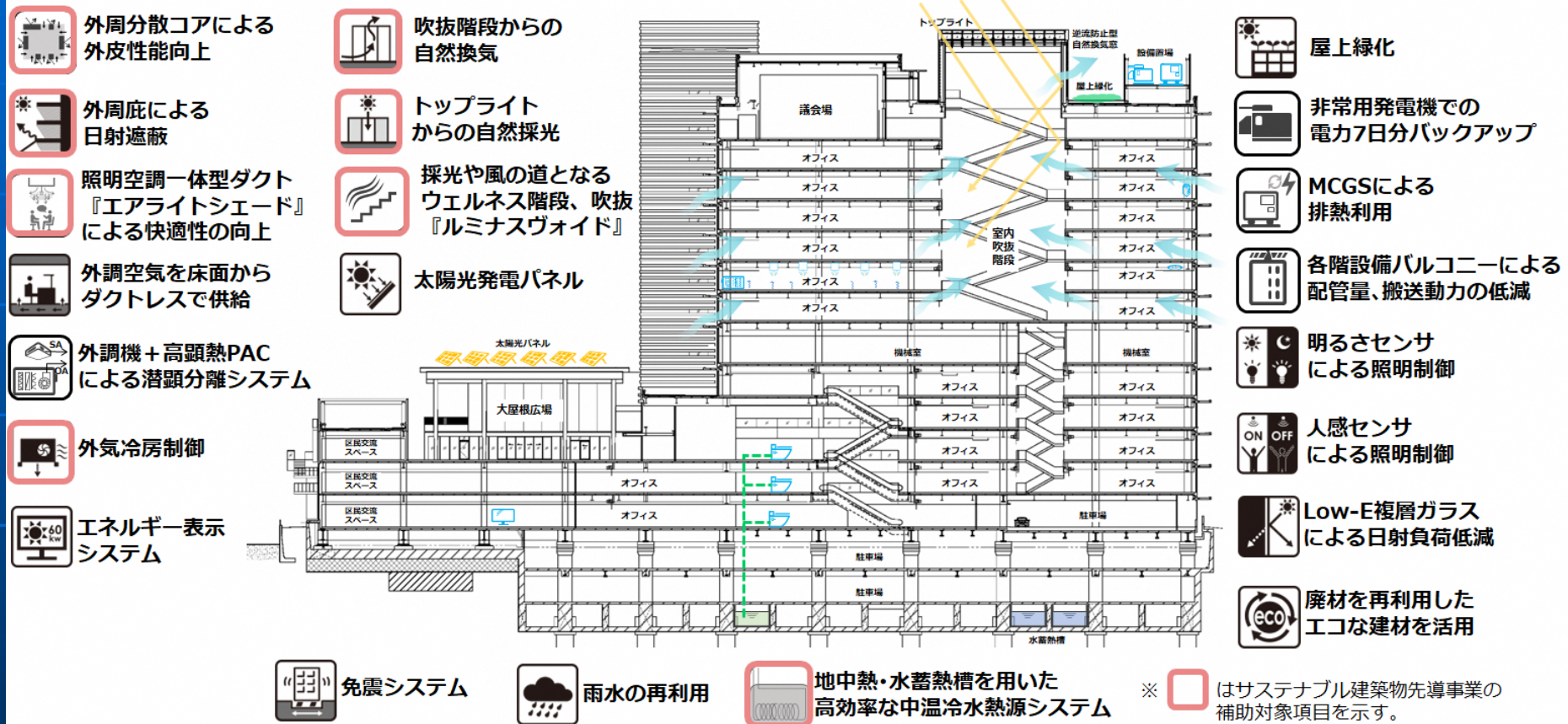
品川区新総合庁舎(品川区役所新庁舎)

提案者:品川区

<概評>

- 自治体による積極的なゼロエミッション化を目指した新庁舎整備として、先進的な環境技術を採用し、省CO₂と快適性を両立している点、地域防災拠点としての防災性にも配慮している点を先導的として評価した。
- 区民等が訪れる庁舎として、来庁者への見える化に関する更なる工夫が望まれる。

品川区新総合庁舎(品川区役所新庁舎)



採択案件の概評② <一般部門>

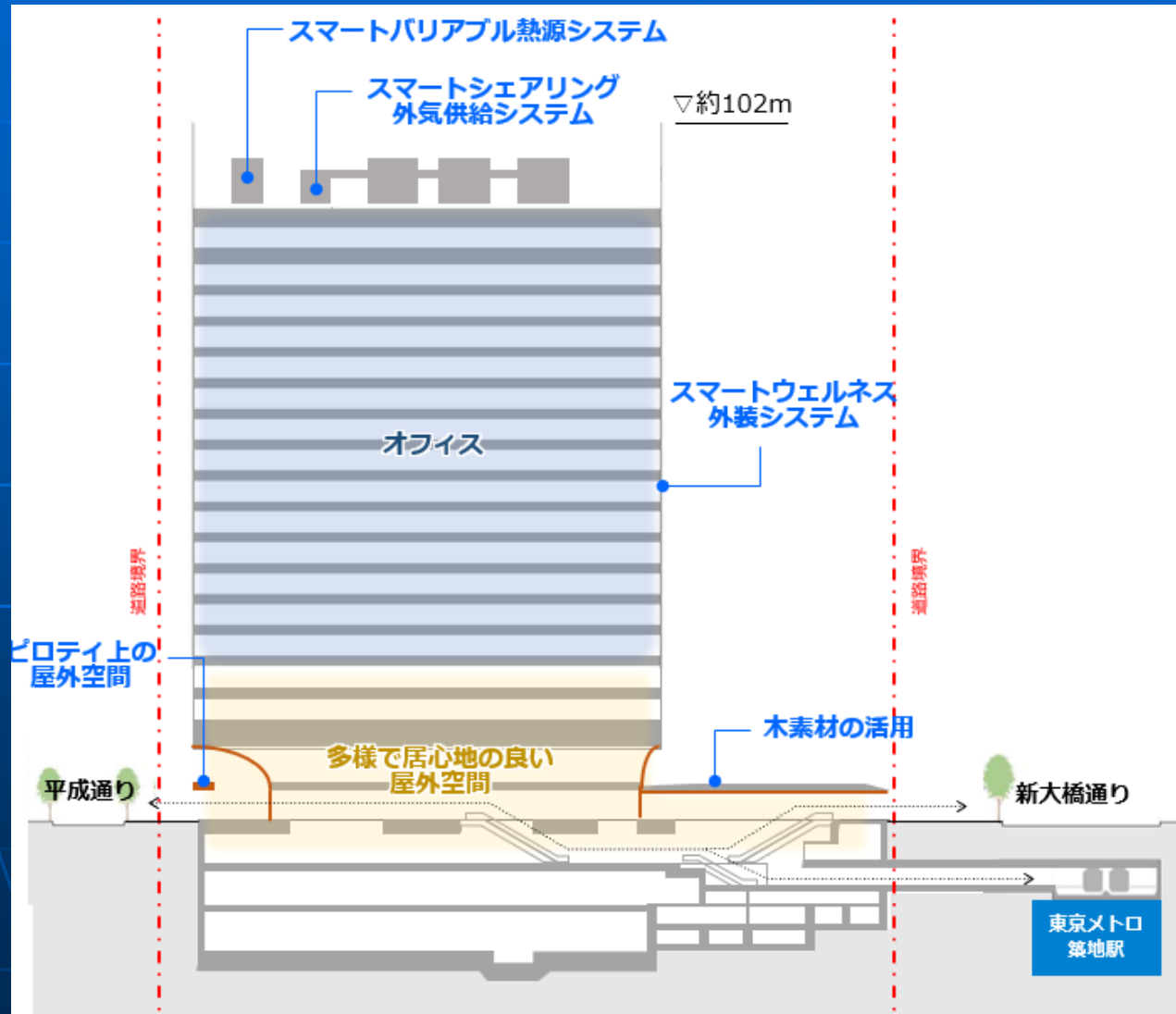
築地二丁目地区プロジェクト

提案者：日鉄興和不動産株式会社
エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社

<概評>

- カーテンウォールの縦ルーバーを活かした外装システムや熱源・空調を連携・協調させたシステムなど、先導的と評価した。
- 駅前の立地特性を活かすべく、建物利用者が屋外に出ることも意図した計画であり、ウェルネス性能の向上も期待できる。
- ホールライフカーボン(WLC)の削減を目指して、特に、運用時の省エネ性能の更なる向上が望まれる。

築地二丁目地区プロジェクト



採択案件の概評③ <一般部門>

(仮称)福岡・大手門一丁目計画

提案者: 野村不動産株式会社
東京建物株式会社
西日本鉄道株式会社
九電不動産株式会社

<概評>

- 九州エリアの再エネ出力抑制要請に対応したデマンドレスポンス(DR)技術(季節に応じた蓄熱運転など)を採用しており、先導的と評価した。

(仮称)福岡・大手門一丁目計画

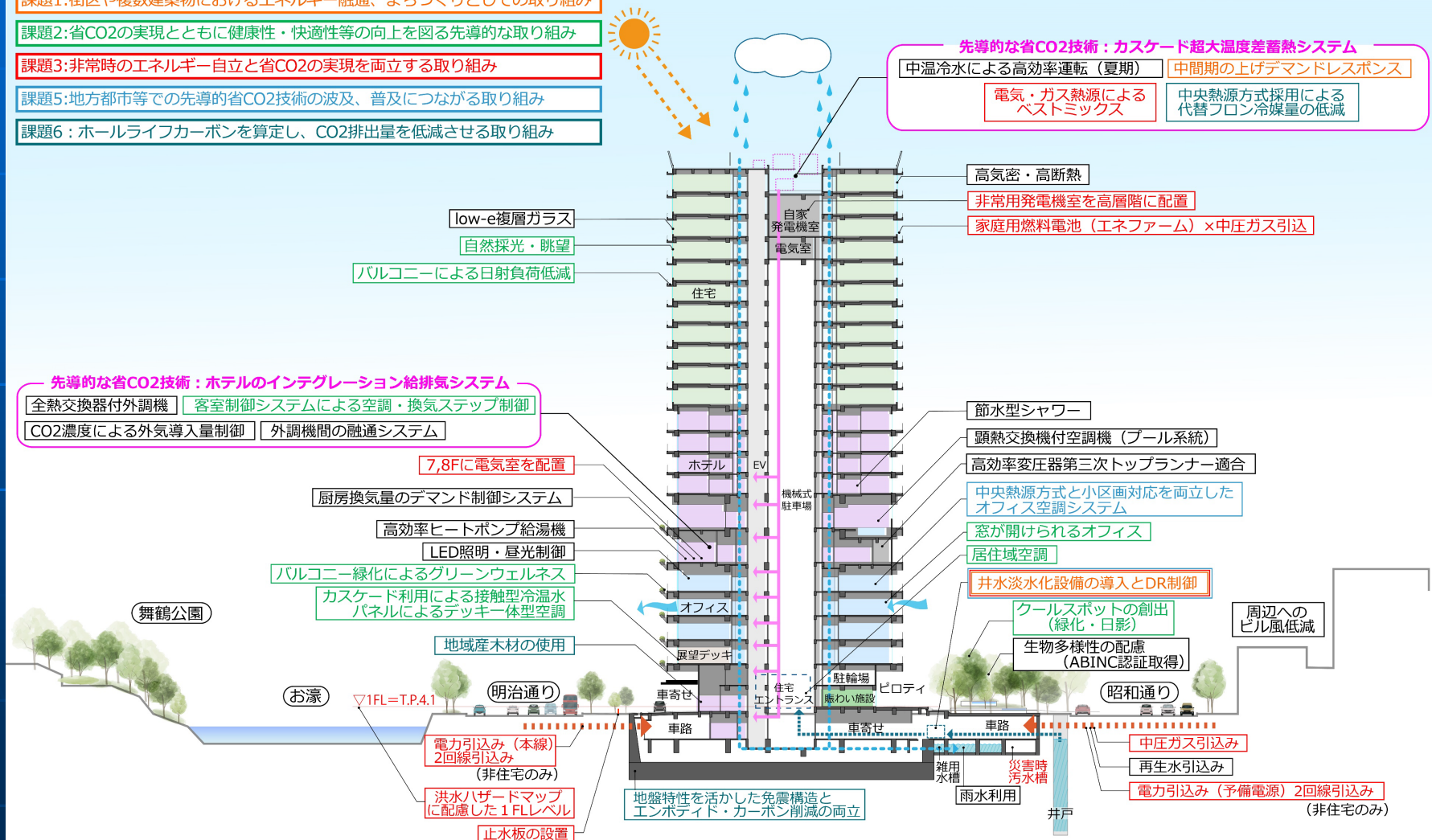
課題1:街区や複数建築物におけるエネルギー融通、まちづくりとしての取り組み

課題2:省CO₂の実現とともに健康性・快適性等の向上を図る先導的な取り組み

課題3:非常時のエネルギー自立と省CO₂の実現を両立する取り組み

課題5:地方都市等での先導的省CO₂技術の波及、普及につながる取り組み

課題6:ホールライフカーボンを算定し、CO₂排出量を低減させる取り組み



採択案件の概評④ <一般部門>

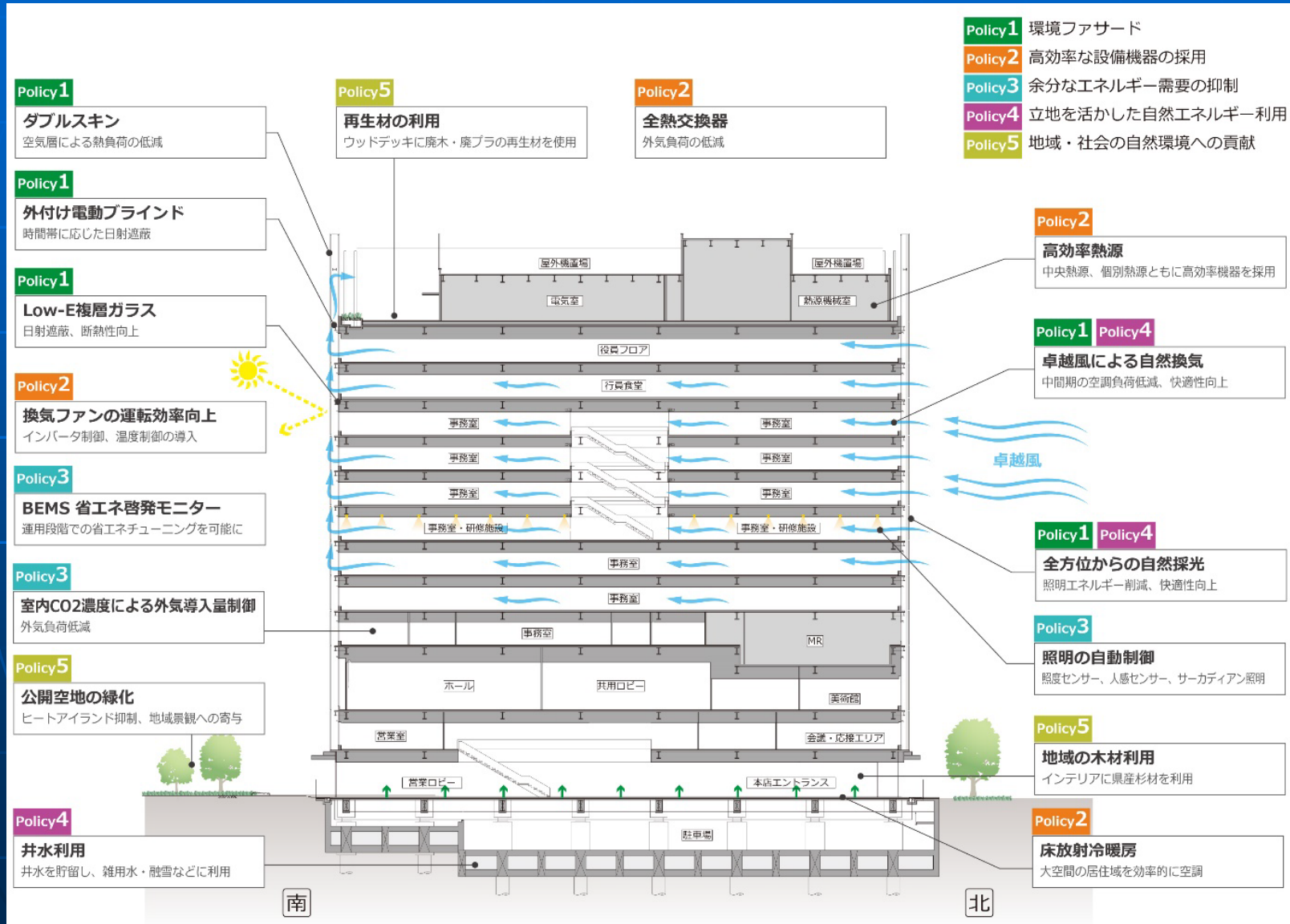
北陸銀行（仮称）ほくほくFG本社ビル 新築工事

提案者：株式会社北陸銀行

<概評>

- 中間期の卓越風を取り込むファサードデザインや梁状設備一体型システムといった導入しやすい技術をバランスよく取り入れており、地域への波及・普及効果が期待できるものと評価した。
- 建物外皮は眺望と熱負荷抑制を両立した計画であり、先導的と評価した。
- 空調技術などについては更なる工夫が望まれる。

北陸銀行（仮称）ほくほくFG本社ビル 新築工事



採択案件の概評⑤ <一般部門>

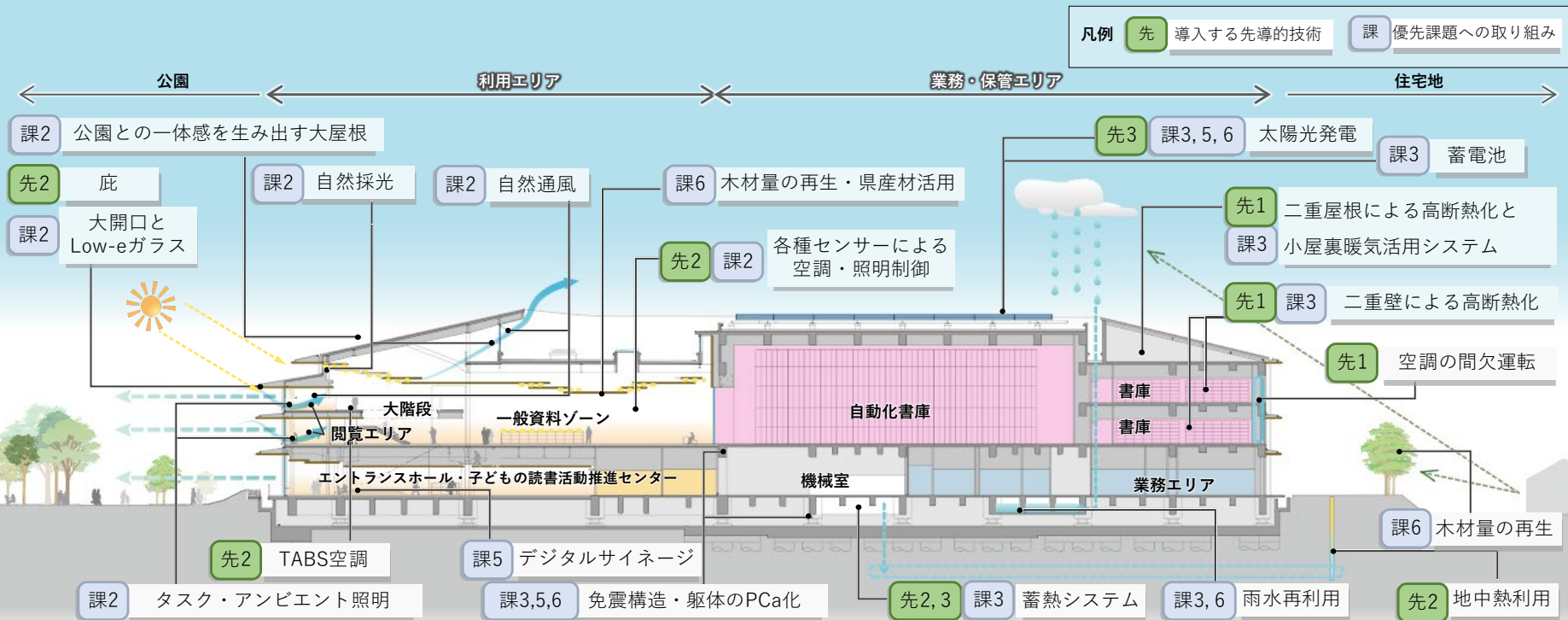
新千葉県立図書館・県文書館複合施設

提案者：千葉県

<概評>

- 公立図書館という不特定多数の来館者にアピールできる施設であり、書庫と閲覧室とで、それぞれ適した空調方式を採用し、非常時に72時間は書庫の温熱環境を維持することができる計画である。
- 室内に木材を多用し、公園の自然と連続する閲覧空間の快適性を高めており、先導的と評価した。

新千葉県立図書館・県文書館複合施設



採択案件の概評⑥ <一般部門>

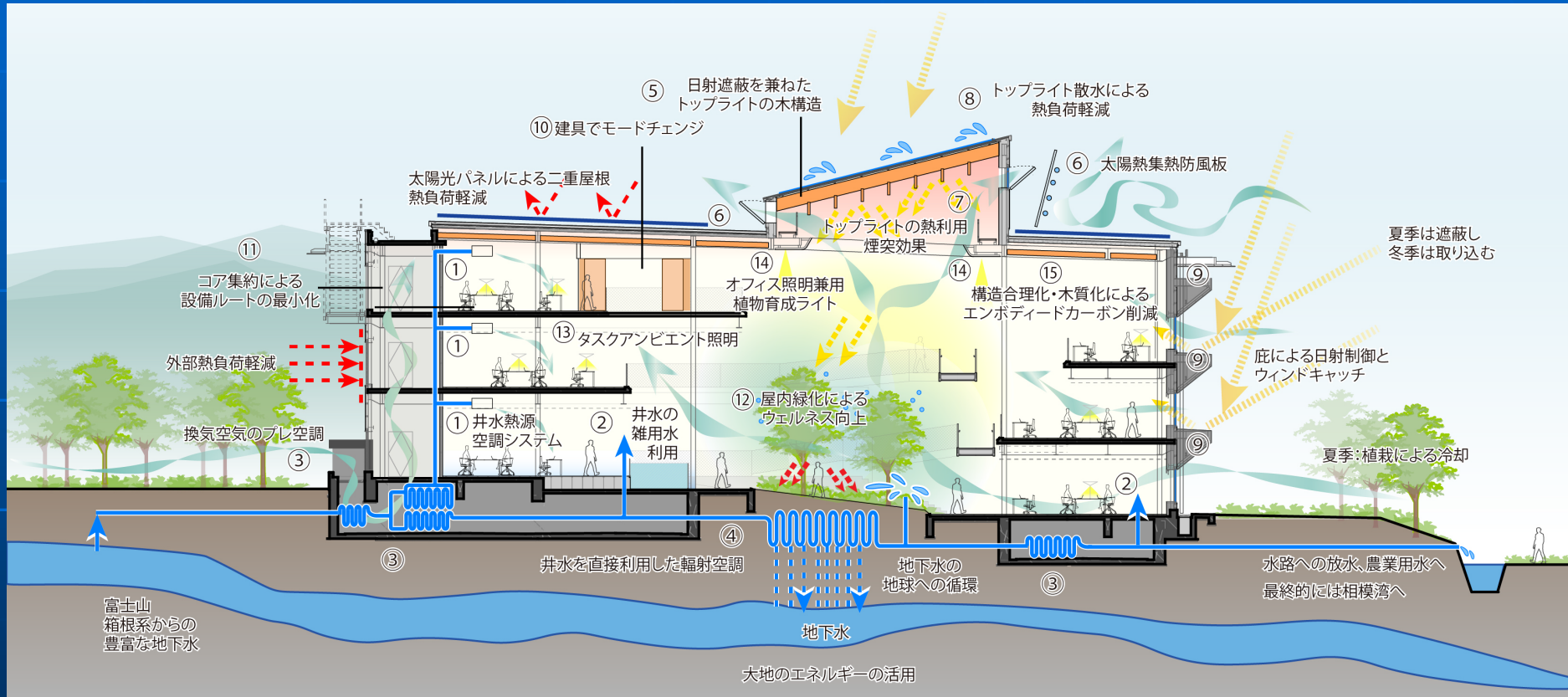
ミクニかなめプロジェクト

提案者：株式会社ミクニ

<概評>

- スキップフロアが特徴的な、自然エネルギーを有効活用する計画で、バイオフィリックデザイン（自然の要素を取り入れたデザイン）を積極的に取り入れて、屋内に設けた地表部分に樹木を植樹するなど、先導的と評価した。

ミクニかなめプロジェクト



採択案件の概評⑦ <中小規模建築物部門>

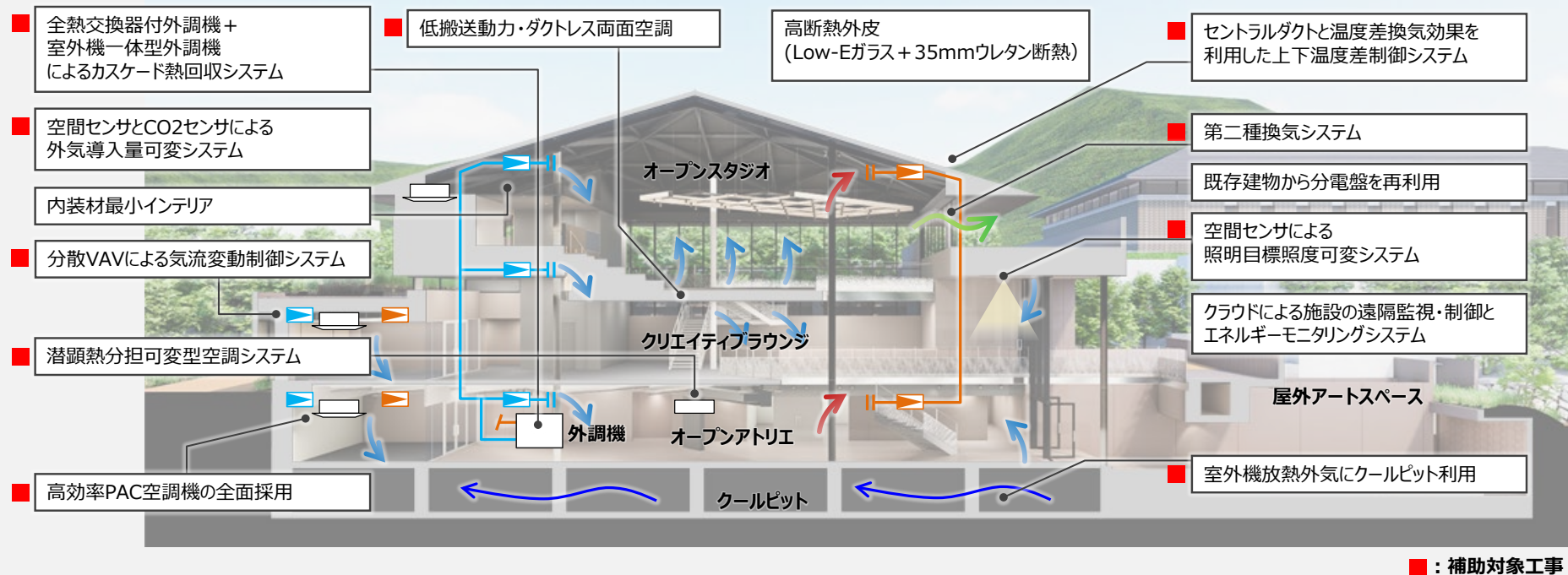
立命館衣笠キャンパス デザイン・アート学部・研究科(仮称)施設整備事業

提案者: 学校法人立命館

<概評>

- 中小規模の学校施設として、CASBEE・Sランク、BELS・6つ星の達成を目指し、建築計画、設備計画においてバランスの良い省CO₂技術を導入し、健康と知的生産性の向上も意識した提案であり、中小規模建築物への波及性・普及性が期待できるものと評価した。
- 脱炭素やウェルネス効果など事後検証を行い、情報発信することを期待する。

立命館衣笠キャンパス デザイン・アート学部・研究科 (仮称)施設整備事業



採択案件の概評⑧ <中小規模建築物部門>

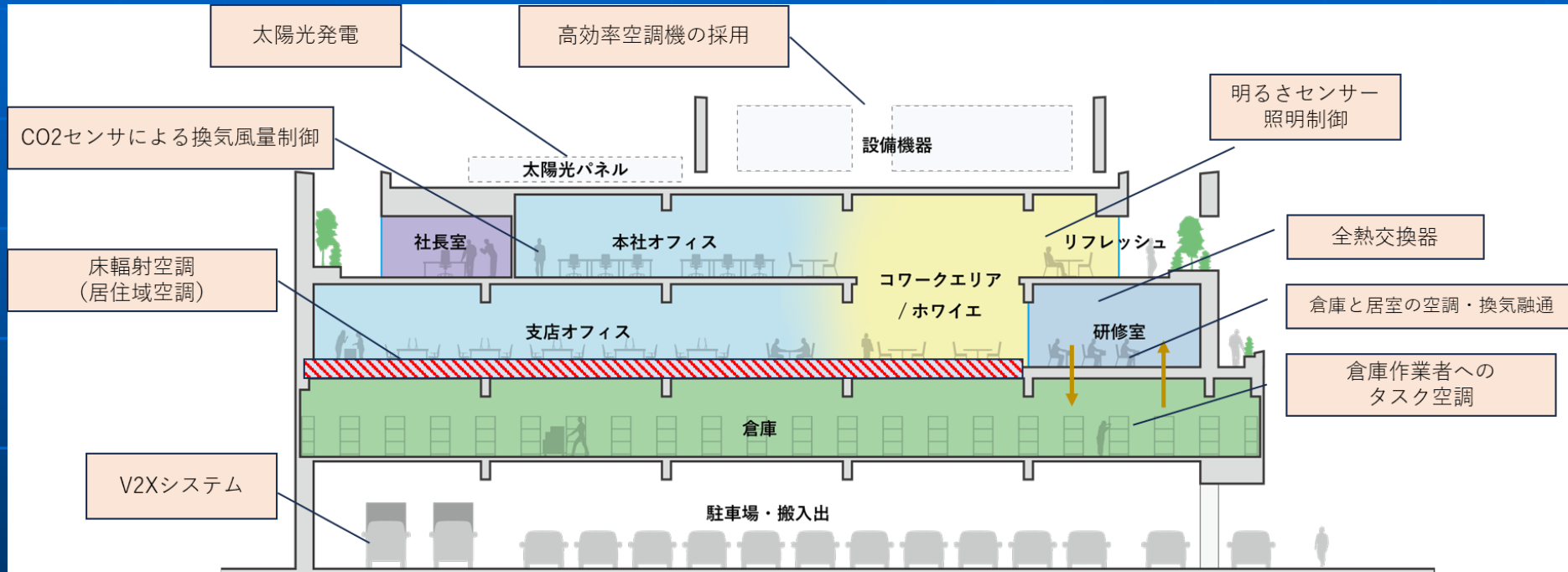
亀喜工業新本社

提案者: 亀喜工業株式会社

<概評>

- 中小規模の事務所ビルとして、CASBEE・Sランク、BELS・6つ星の達成を目指し、建築計画、設備計画において多様な技術がバランス良く提案され、中小規模建築物への波及性・普及性が期待できるものと評価した。
- 脱炭素やウェルネス効果など事後検証を行い、情報発信することを期待する。

亀喜工業新本社



今後の期待

- 採択事例の少ない地域の提案
- 過去の採択事例で提案された様々な省CO₂技術を上手く活用し、省CO₂の波及・普及につながる提案
- 中小規模建築物等をはじめとしてこれまで応募のない設計者からの提案
- カーボンニュートラルの実現に向けた道筋を明示する取り組み、省CO₂の実現とともに付加価値の増進につながる取り組み、さらにはSDGsへの貢献につながる取り組みなど、多様な提案を期待

令和7年度
サステナブル建築物等先導事業(省CO₂先導型)
概評と今後の動向

生産・住宅計画分野に
おける立場から

サステナブル建築物等先導事業(省CO₂先導型)評価委員
東京大学大学院 教授
清家 剛

今回の応募と採択について ＜一般部門＞

- 応募案件（当分野）は3件→3件を採択
（共同住宅：1件→1件、戸建住宅：2件→2件）
- 今回の応募案件の特徴と評価
 - GX志向型住宅を上回る高い環境性能と運用時のゼロエミッション化を目指す共同住宅プロジェクト
 - 積雪寒冷地において、県と地元工務店が中心となり、県独自の省エネ住宅基準の住宅を広めるプロジェクト
 - 北海道が設定した住宅性能基準の住宅を事業者ネットワークを通じて建設し技術の共有を目指すプロジェクト

採択案件の概評① <一般部門>

脱炭素志向型高層集合住宅プロジェクト

提案者：東急不動産株式会社

<概評>

- 高い外皮性能、全住戸への蓄電池と非常用コンセントの設置、共用部は太陽光発電と蓄電池や非常用発電機及び再エネ電力メニュー契約により運用時のCO₂排出量実質ゼロを目指す取り組みは、技術的に高いレベルであると評価した。
- 運用面におけるデータが今後蓄積されることで、他のプロジェクトへの波及性の観点で、有用な知見が得られることを期待する。

採択案件の概評② <一般部門>

あおもり発の積雪寒冷地型住宅最適化プロジェクト

提案者：あおもりGX住宅ビルダーズ

<概評>

- 県と地元工務店が中心となり住宅性能データを取得・検証し、それらを活用して青森県独自の省エネ住宅基準の住宅を広める試みは、省CO₂住宅の取り組みが限定的であった青森県において波及・普及効果が期待できると評価した。
- これまで寒さ対策として断熱性能強化に主眼がおかれていたが、夏期の高温多湿への対応も必要となるため、省CO₂住宅のあり方について有用な知見が得られることを期待する。

採択案件の概評③ <一般部門>

北方型住宅ZERO【長期優良住宅】 ～道内普及・啓発推進事業

提案者：一般社団法人北海道ビルダーズ協会
株式会社キクザワ/渋谷建設株式会社
株式会社丸三ホクシン建設/光輝建設株式会社
株式会社森栄建設/有限会社山野内建設

<概評>

- 既に住宅性能が高い土地がある中で一定水準を満たす質の高い住宅を供給すること、居住データを産官学が連携し評価すること、これらを地域工務店が自主的に取り組む試みは、北海道地域のボトムアップと省CO₂技術の波及・普及が期待できると評価した。
- これまで寒さ対策として断熱性能強化に主眼がおかれていたが、夏期の高温多湿への対応も必要となるため、省CO₂住宅のあり方について有用な知見が得られることを期待する。

今後の期待

- 今後とも省CO₂の対応が遅れている分野での底上げ、新たな価値の創出につながる工夫を盛り込んだ提案などを期待
 - 既存住宅や賃貸住宅等での省CO₂促進
 - まちづくり、コミュニティとしての取り組み促進
(マネジメント、シェアなど)
 - 省CO₂と健康性の増進、子育て・介護支援
 - 波及や普及につながる実効性ある体制や具体的な工夫、補助事業の実施後の効果や展開などを明確にした提案
(住まい手への訴求、作り手の技術力や営業力の向上等)